親和会だより

令和３年春号　No.13　発行・令和３年4月15日

親和会の基本理念

私たちは、利用者の個人の尊厳を大切にし、障がい者が地域の中で自分らしく生きるための支援を行うとともに、地域に開かれ信頼される法人運営をめざします。

社会福祉法人　親和会
理事長　山本 久喜
〒997-0024
鶴岡市朝暘町4-10
（法人本部）
TEL：0235-64-1769
FAX：0235-24-5335
Mail：info@sinwa-kai.or.jp
H P：http://sinwa-kai.jp

※　さごし利用者で書家の梅津玄雲氏に揮毫していただきました。

社会福祉法人親和会
令和3年度事業計画　策定しました

令和３年３月１１日開催の第３回理事会及び３月１８日開催の第３回評議員会において、令和３年度事業計画が決定しました。令和3年度の親和会の事業運営は、この事業計画にもとづいておこなわれます。

社会福祉法人親和会　令和3年度事業計画（要旨）

令和3年度はコロナ対策を最大の課題とする。一方で、コロナ禍の収束を視野に入れながら事業運営に取り組む必要がある。

新型コロナウイルス対策（ワクチン接種含む）の強化について
〇引き続きコロナ対策に取り組むとともに、利用者・職員のワクチン接種を遺漏なきよう進める。

利用者への支援向上と働きがいのある職場環境の確立、事業運営の適正化について
〇利用者支援向上について、質の高いサービスの提供に努める。
・感染防止対策に留意して、諸行事等に取り組む。
・自立支援、工賃向上にむけた支援、関係部門の連携、問題解決に向けた支援を重点的に取り組む。
〇グループホームは利用者の安全・安心、日中活動の支援とサポート体制の確立を図る。
・各グループホームに夜間支援従事者を配置する。
〇相談支援事業所は、スキル向上に努めながら、引き続き利用者援助や関係機関との連携を強める。
〇居宅介護事業所では、障がい者が居宅にて自立した日常生活を営むことができるように支援する。
〇生活介護事業所の新規開設に向けて、法人内にプロジェクトチームを立ち上げる。
〇働きがいのある職場環境の確立。
・研修機会の拡充、各種研修に積極的に参加する。
・昨年度開催できなかった役職員全体研修等をはじめ職場内研修の充実に努める。
・人事・労務関連での人事管理の適正化、全職員との面談の継続、メンタルヘルスケア・ハラスメント対策を強める。年休取得推進や時間外・休日労働の縮減の周知徹底を図る。
・本部・事業所間の連携、事業運営の透明性、コンプライアンス強化、安全管理と危機管理対策の強化を図る。

地域や関係団体との協力共同・連携の強化について
〇障がい者の権利保障をめざす取り組みと障がい者が安心して住み続けられる地域社会をめざす。
・庄内障がい者地域支援親和会総会（通称；家族会総会）の開催（10月）
・鶴岡地区障害者通所施設協議会や全国組織の社会福祉法人きょうされん等との協力共同・連携

激動の令和2年度を振り返る

〇コロナ関係
令和2年1月15日　国内で初めて感染者を確認
2月27日　親和会、理事長発「緊急指示」を発出
※毎日の検温やマスク着用、手洗い・うがい、人ごみへの外出自粛要請等の指示が出される。
以降、No.6（令和2年7月17日発）まで指示文書を発出。指示は現在も継続中。
4月～5月　日本全土に緊急事態宣言
10月　コロナ感染防止のため、庄内障がい者地域支援親和会総会（家族会総会）を中止
〇自然災害
令和2年7月28日　豪雨により最上川氾濫（親和会に被害なし）
令和3年1月　9日　豪雪のため、親和会の事業所を閉所
2月13日　東日本大震災余震発生・庄内地方震度4（親和会に被害なし）

あずま事業所

畑での大根の雑草取りや雪中での収穫作業等、これまでにない高い工賃で利用者の方がやる気を出したこと、一緒に汗を流したことが印象に残っています。

外出レクの減少等に不満の声もありましたが、初の夏祭りの開催・餅つき等、室内でのレクを工夫して行いました。

1月の豪雪、自宅以上に事業所の除雪を頑張りました！

あすか事業所

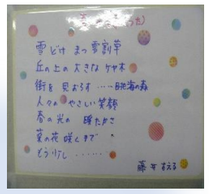
あすかオリジナルの夏祭りや芋煮会、忘年会、新年会を行いました。忘年会は豪華弁当が好評！

コロナで「にこふる」での社会参加ができないので、生活訓練では12月25日にお花の先生を迎え、外部との交流を図りました。

丁寧に活けることができました♡

さごし事業所

事業所内の「さごしギャラリー」、春に向けて新しくしました。



さごしも、除雪作業が大変でした。
生活訓練ではパーテーションづくりを行いました。

さんのう事業所

コロナの影響で作業が手薄になり、新しい作業の開拓のために奔走しました。通所を継続していいのか、事業所の意義を考えました。

マスクやティッシュが品薄となったこと、こころの医療センターも電話受診に切り替わったこと等が印象に残りました。

やまびこ事業所

ぶどう狩り

利用者の方が検温を自分から積極的に行うようになりました。消毒も定着しています。職員も、法人車の消毒、検温等、仕事が増えましたが、今は抵抗なく当たり前のように行っています。

忘年会（12月）は室内でどうやったら楽しんでいただけるか、一生懸命考えました。ブドウ狩り（10月）も久しぶりの外出で楽しかったです。

裏面に続く

7/28の豪雨では鶴岡市の赤川も水位が上昇したため、「あすか」では、もしもの浸水に備え、一階の機器、その他の重要物を二階本部小会議室へ移動しました。（写真は当時の赤川の様子・国交省東北地方整備局酒田河川国道事務所のカメラ映像より）